

年 組 名前

2020年2月28日付



通風筒

◇：春の訪れを告げるギフチョウが二十七日、岐阜市大宮町の名和昆虫博物館で羽化した。写真。同館で二十八日から一般公開する。

◇：黒と黄色のしま模様、赤、青、だい

だいの紋が入った鮮やかな姿から「春の女神」と呼ばれるギフチョウは一八八三（明治十六）年、現在の岐阜県下呂市で発見された。

◇：例年よりも数日早い羽化に、名和哲夫館長（六巴）は「羽化するためには冬を感じる必要がある。今年は暖かったので心配していたが、ホツとした」と胸をなで下ろす。記録的暖冬にも負けずに羽化した二匹の「女神」。柔らかな羽を小刻みに動かし、春に飛び立つ準備をしていた。

※ 大人の人に記事を読んでもらって考えましょう。

問1：チョウは、どのようなじゅんに育ちますか。言葉を書き入れましょう。

たまご → よう虫 → () → 成虫

問2：しよっかくは、どれでしょうか。写真に○をつけましょう。

問3：チョウの成虫のからだは、どのようなつくりをしていますか。

言葉を書き入れましょう。

チョウの成虫のからだは、()、むね、()

からできていて、むねにあしが () 本あります。